

宮城県蔵王高等学校

志教育の視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる · <input checked="" type="checkbox"/> もとめる · <input checked="" type="checkbox"/> はたす
活動名	蔵王町と連携した地域探究学習「ジオツアーラーニング」
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	第1・2学年
ねらい	今年2月に認定された蔵王ジオパークと連携し、地域の魅力を再発見し内外に発信することで、地域に積極的に関わり貢献する姿勢を養う。

【実践内容】

[志教育の視点]

地域を理解し地域に貢献できる人材となるために、地域の自治体や企業と連携しながら魅力の発信に取り組む中で課題解決の基礎学習を行い、主体的に課題に取り組む姿勢を身につける。

[活動内容]

1. ジオツアーラーニングの概要

蔵王町では町を挙げて「蔵王ジオパーク（地質遺産）構想」を推進し、蔵王ジオパークの認定を達成した。蔵王高校では町内唯一の高校として蔵王町環境政策課ジオパーク推進協議室と連携し、各種行事への参加や県内外との交流事業を行ってきた。中でも大きな取り組みとして「ジオツアーラーニング」と題し、蔵王の魅力を調べ学習によって再発見し、その成果を観光ツアーの企画としてまとめるという活動を行っている。企画したツアーは実際に一般の参加者を募った上で実施し、生徒たちがガイドなどを務めている。

2. 年間スケジュール

①ジオウォークラン（5月）

学校から遠刈田地区まで約10kmを徒歩で散策する。ジオサイト（地域の見所）を巡り、理解を深める。

②ジオフィールドワーク（5月）

蔵王山頂（御釜）や円田盆地などを巡り、ジオサイトへの理解を更に深める。

③ツアー案作成（6～7月）

これまでの活動を振り返りながら、ツアーの旅程、ガイドの原稿、広告などを分担して作成していく。

④プレツアーラン（7月）

立案したツアー案を基に、実際に蔵王地域を巡りながらツアーの予行を行い、改善点を探る。

⑤日本ジオパーク全国大会（8月）

全国から集まった高校生と交流し、ジオツアーラーニングなどについて事例発表を行う。

⑥ツアーラン（9月）

一般の参加者を募集し、ツアーを実施する。2学年が中心となってガイドを務める。

⑦学習発表会（1月）

町の文化会館を会場として、ジオツアーラーニングをはじめとした学習活動の成果発表を行う。

3. 学習の成果

生徒たちは、蔵王の各地を訪問し専門家の解説を受ける中で、見慣れた景色に眠る魅力に改めて気づいていた。また、ツアーを作り上げる活動を通して、自ら課題や疑問を設定し乗り越えようとする姿が見られた。

